

本件は、宮古記者クラブに配信しております

情報提供

平成 28 年 10 月 17 日
国立研究開発法人水産研究・教育機構
東北区水産研究所

「第 2 回 宮古地域水産シンポジウム」
～水産業の未来にむけて～をテーマに開催します

国立研究開発法人水産研究・教育機構東北区水産研究所宮古庁舎は、震災により施設が全壊しましたが、平成 25 年 12 月に施設を再建するなど新たな組織として研究活動を行ってきました。この度、再建後の当所の研究内容や成果を知っていただくとともに、地元の水産関連団体との意見交換を通じて、宮古地域の水産の展望について考えることを目的に、下記のとおり第 2 回「宮古地域水産シンポジウム」を開催するはこびとなりましたので、お知らせいたします。

テーマ 水産業の未来にむけて
日時 平成 28 年 10 月 28 日（金）13:30－17:00
場所 宮古市シートピアなあと 研修ホール（岩手県宮古市臨港通 1-20）
主催 国立研究開発法人水産研究・教育機構東北区水産研究所
いわて海洋研究コンソーシアム

なお、入場は無料、事前の参加申込は不要です

本件照会先：

国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所

宮古庁舎	八谷 光介	TEL:0193-63-8121
	神山 孝史	TEL:0193-63-8121
塩釜庁舎	山田 秀秋	TEL:022-365-9924

別紙 開催要領

「第2回 宮古地域水産シンポジウム～水産業の未来にむけて～」

日時：平成28年10月28日（金）13:30～17:00

場所：宮古市シートピアなあとど 研修ホール（岩手県宮古市臨港通1-20 電話0193-71-3100）

主催：国立研究開発法人水産研究・教育機構 東北区水産研究所
いわて海洋研究コンソーシアム

【次第】

1 開 会（13：30）

2 主催者挨拶

国立研究開発法人 水産研究・教育機構 理事長 宮原正典

3 講 演

① 震災後のサケ回帰状況と資源回復に向けた取り組み

佐々木 系（東北区水産研究所沿岸漁業資源研究センター 宮古庁舎）

② エゾアワビの繁殖生態に関する研究の展開：資源管理方策の確立をめざして

松本 有記雄（東北区水産研究所沿岸漁業資源研究センター 宮古庁舎）

③ 宮古魚市場におけるマダラ調査と最近の資源状況

清水 大輔（東北区水産研究所沿岸漁業資源研究センター 宮古庁舎）

④ 秋季ワカメ漁場への栄養塩供給予測

内記 公明（岩手県水産技術センター）

⑤ 宮古湾でのこれまでの取り組みと震災後の状況と問題点

山根 幸伸（宮古市漁業協同組合）

⑥ 須賀の記憶から考える流域と沿岸のポテンシャル：多機能型の水産資源管理をめざして

福永 真弓（東京大学）

4 総合討論

座長：東北区水産研究所 沿岸漁業資源研究センター長 神山 孝史

5 閉 会（17：00）